本日10/6に予定しておりました「東京の住宅地」第１回シンポジウムですが、台風１８号の影響により、悪天候や交通機関の乱れが予想されるため、【延期】いたします。
後日改めて日程調整の上、ご案内させていただきます。
よろしくお願い致します。

CPD 3単位

【連続シンポジウム】「東京の住宅地」の現在と未来

第１回：東京の住宅地の新たな潮流

11年ぶりの新版「東京の住宅地 第四版」を記念して、執筆者らとともに、人口減少期・東京圏の住宅地における現在と未来を考える連続シンポジウムを開催する。

「東京の住宅地」は、研究や実務でかかわる専門家による住宅地のガイドとして、1978年に第一版が制作され、以降、第二版が1991年、第三版が2003年と、ほぼ12年周期で送り出されてきた。このたび、第一版から36年が経過した本年（2014年）、第四版を完成するに至った。

時代の潮流や刻々と変化する状況、それまでの課題や新たな課題、取組みなどを記録してきた「東京の住宅地」の新版を通して、人口減少・縮減の時代を迎えた今日の住宅地の課題や可能性を下敷きに、未来の東京圏と住宅地を考えたい。

日　時：2014年10月6日（月）　14:00～17:00
会　場：建築会館会議室（東京都港区芝5-26-20）
主　催：日本建築学会 関東支部 住宅問題専門研究委員会

〈プログラム〉
趣旨説明：後藤智香子（主査／東京大学）
主題解説：１．「東京の住宅地 第四版」の概要と意義
全　体：佐々木誠（東京の住宅地WG主査／日本工業大学）
第Ⅰ部：後藤智香子（再掲）　第Ⅱ部：中村美和子（エコロジー・アーキスケープ）
第Ⅲ部：佐々木誠　（再掲）　第Ⅳ部：梅本舞子　（千葉大学）
２．住宅地における研究・実践事例
「郊外住宅地における住民主体のマネジメントの形成」：室田昌子（東京都市大学）
３．地域横断的な実態・取組み事例「分譲住宅の先進事例」：高山登（街並景観プランナー）
討　　議：司会・佐々木誠　（再掲）

参加費：会員 2,000円　学生 1,500円　一般 2,500円（資料代含む／当日会場払い）
（資料「東京の住宅地 第四版」頒布価格1500円）
定　員：４０名（申込み先着順）
申込み：こちらの申し込みフォームからお申し込みください

日本建築学会 関東支部　E-mail:kanto@aij.or.jp　TEL03-3456-2050

■今後のシンポジウムの予定
第２回：2014年11月21日（金）　まちなみ・景観の持続的な取組み
第３回：2015年 3月 3日（火）　地域・多世代・学生の交流連携の多様な取組み